

1 - 3 北海道地方とその周辺の最近の地震活動 (1995年5月～10月) Recent Seismic Activity in and Around the Hokkaido District (May-October, 1995)

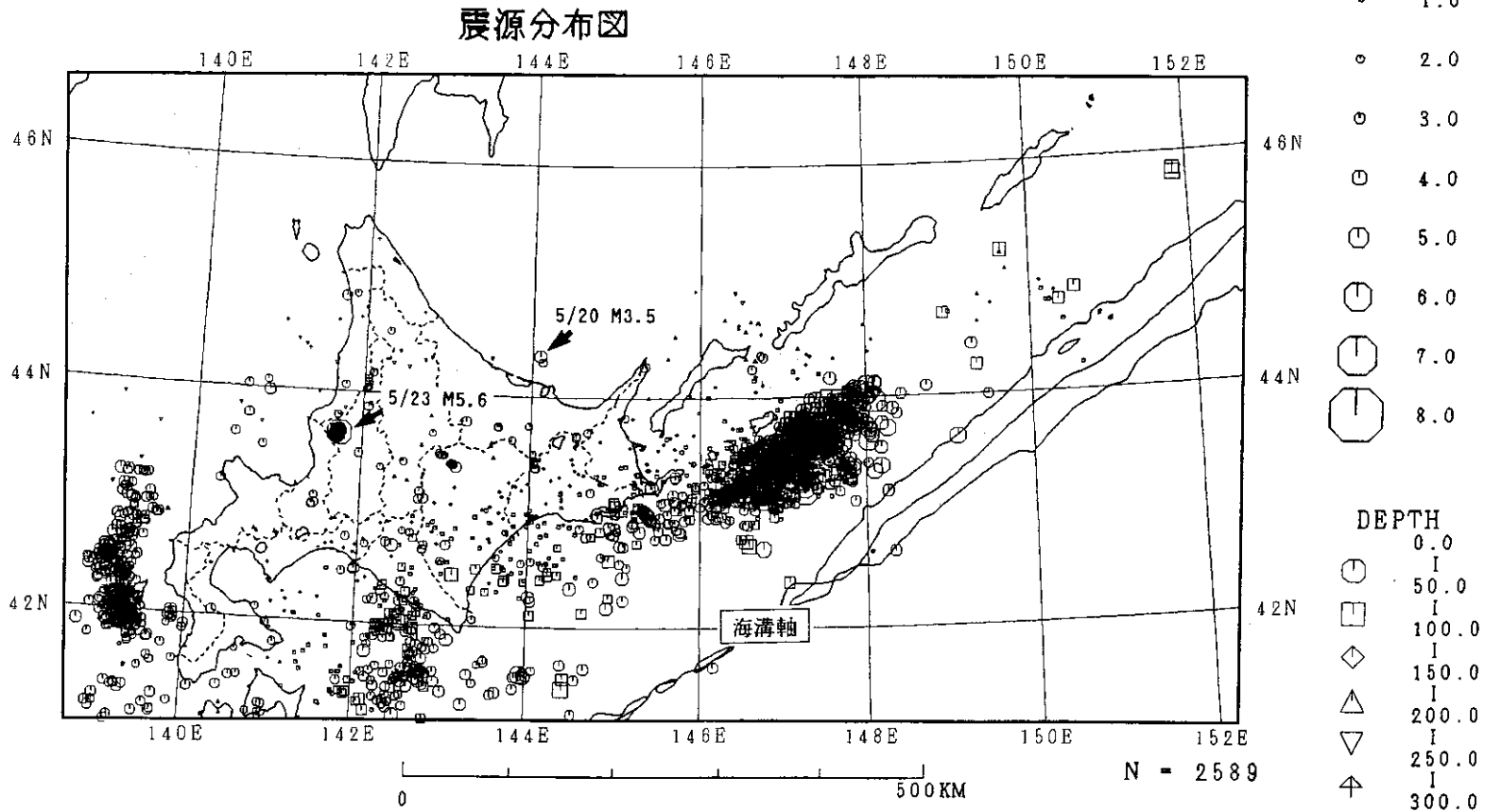
札幌管区气象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1995年5月～7月, 1995年8月～10月の各3ヶ月間の震央分布図を第1図(a)と第1図(b)に示す。以下, これらの期間に発生した主な地震活動を挙げる。1993年北海道南西沖地震(M7.8)と1994年北海道東方沖地震(M8.1)の余震活動は現在も続いているが, いずれも活動レベルが低下する傾向にあり, 特に北海道東方沖地震の余震域では5月以降, 発生頻度, 地震の規模共その傾向が著しい。一方, 5月23日に空知支庁地方でM5.6(深さ14km)の地震が発生(最大震度V:北竜), 震源に近い北竜町, 新十津川町, 滝川市などで建物の損壊などの被害が発生した(本巻別項参照)。また, 10月1日から北海道南西沖地震の余震域から南東約10kmはずれた松前町の沖合いで顕著な群発地震活動が始まった。地震活動のはじめは地震の規模が小さく局地的に有感となる地震が数回発生した程度であったが, 11月に入ってから松前で震度III～IVを観測するようになった(本巻別項参照)。5月20日に北海道北東沖でM3.5の震源の浅い地震が発生し雄武で震度Iを観測した。この付近は活動レベルの低い地域だが, 1956年3月6日にM6.3の地震が発生し弱い津波が観測されている。9月26日に十勝沖で沿岸地域としてはこの期間で最大のM5.7(深さ43km)の地震が発生し浦河, 広尾などで震度IIIを観測したが余震の発生はなかった。なお, この期間, 北海道周辺ではM6以上の地震は発生していない。

北海道地方とその周辺の地震活動(1995年5月~1995年7月 $h \leq 300$ km)

札幌管区气象台
MAGNITUDE

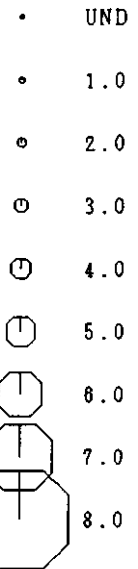


第1図 北海道周辺の地震の震央分布:(a) 1995年5月~7月($h \leq 300$ km)

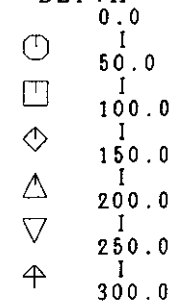
Fig.1 Epicentral distribution of earthquakes in and around the Hokkaido District:(a) May-July, 1995 ($h \leq 300$ km).

札幌管区气象台

MAGNITUDE

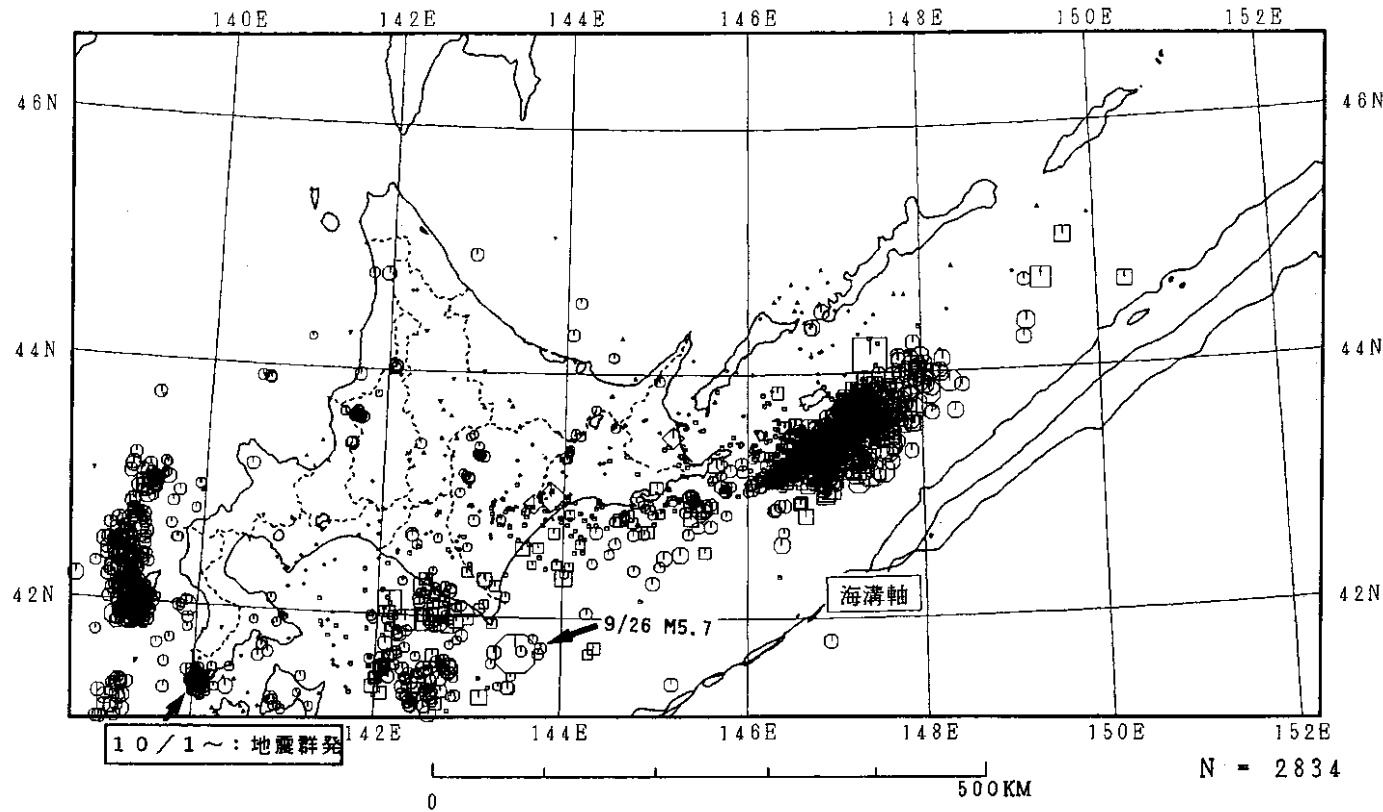


DEPTH



北海道地方とその周辺の地震活動(1995年8月~10月 h ≤ 300 km)

震源分布図



1995/8/1 0:0-->1995/10/31 24:0

第1図つづき (b) 1995年8月~10月 (h 300km)

Fig.1 (Continued) (b) August-October, 1995 (h 300km).